



題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary
一宮RC



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日

●事務局 ☎491-0858 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931

UNITE FOR GOOD

URL: <http://rc138.org>

E-Mail: rc138@lily.ocn.ne.jp

2025年8月28日

第3647回例会

プログラム

ガバナー補佐訪問

西尾張分区ガバナー補佐

大竹 敬一君(あまRC)

ロータリーソング「四つのテスト」

第3646回例会の記録

2025年8月21日(木)

会長挨拶

山上哲司

猛暑の中、阪神甲子園球場で開催されている第107回全国高等学校野球選手権では連日熱戦が続いています。岐阜阜商は数々の豪校を撃破して、本日の準決勝第1試合では惜しくも日大三高に破れましたが、その健闘は全国のメディアでも大きく報道され、当地でも隣県民として大きな盛り上がりが見られました。

さて、8月は「ロータリークラブ会員増強・新クラブ結成推進月間」です。2025年時点でのロータリークラブの世界全体の会員数は約1,163,000人、クラブ数は約36,531ありますが、特に日本、アメリカ、欧州主要国を中心に会員減少の流れが止まらず、国際ロータリーでは会員増強を最重点課題として掲げています。

日本は1996年会員数約130,000人であったのが現在では約83,000人まで減少しています。減少率は世界最大級とされ、ゾーン数も3から2.5に縮小しています。また、女性会員の比率の低さ(日本7%、世界平均25%)も問題視されています。

アメリカ:過去20年で約100,000人減少。

カナダ:34%減少

オーストラリア:36%減少

イギリス・アイルランド:33%減少、平均年齢は79歳から73歳に若干改善

フランス:8,000人減少

会員数の増加は財政的な安定につながり、より多くの奉仕活動を実現することが可能となります。また多様な人材が加わることで、活動の幅が広がり、地域社会への影響力も高まります。

次回の予定

9/4 青少年交換学生帰国報告

戸松 慶登君

会長 山上 哲司 会長エレクト 桑原 英寿
副会長 梯 國彦 副幹事 吉山佐人規
幹事 大鹿 晃裕 会報委員長 梅谷 朋志

国際ロータリー第2760地区

2025-2026年度 西尾張分区ガバナー補佐

大竹 敬一君(あまRC)



生年月日 1953年7月21日

職業分類 産業機械製造

勤務先 株式会社大竹製作所

役職 代表取締役会長

ロータリー歴

2008年1月

2011~12年度

2013~14年度

2015~16年度

2018~19年度

2021~22年度

あまロータリークラブ入会

幹事

青少年奉仕委員長

国際奉仕委員長

会長

ロータリー情報委員長

マルチプル・ポール・ハリスフェロー +6

第4回米山功労者(マルチプル)

幸い当クラブにおいては、長きにわたる先輩諸氏並びに会員各位の努力によって、会員の増加至上主義に陥ることなく、新たな会員のリクルートと同時に退会者を最小としてきた実績を積み重ねてきたと考えています。今後もこれを継承していきたいと思っています。

最後に、2002年3月、中部経済新聞に掲載された、当時東海ロータリークラブの会長を務めていた私の父を取材した記事の一説をご紹介します。

「(会員増強について)重点的に進めるつもりです、ただし無理はしません。経済的、時間的そして何より人格的に『余裕』のある人でなければ長続きしないと思いますので」

委員会報告

ニコボックス

野村和弘

☆ 豊島半七君

新しい仲間として、NTT西日本東海支店ビジネス営業部門長 重光裕文君を迎える喜びで。

☆ 重光裕文君

この度、歴史と伝統ある一宮ロータリークラブに豊島様のご紹介で入会させて頂きまして誠にありがとうございます。

☆ 足立 誠君

高校インターハイ柔道競技で、100kg超級にて時田選手が見事優勝し、国体は5位。中学校全中で、男子団体準優勝、女子団体は3位でした。また、本日はIACの発表・交換学生でお世話になります。

☆ 吉田真人君

本日修文学院インターアクトクラブ海外研修報告をさせて頂く喜びで。皆様温かい気持ちでお聞き下さい。よろしく願います。

☆ 野田一郎君 都築 健君

本日は、インターアクトクラブ海外派遣研修の報告会となります。大成中学高等学校・修文学院高等学校の生徒さん、先生をお招きする喜びで。

☆ 富田隆裕君

ハーバート君、チェコから日本へようこそいらっしゃいました！1年間楽しんで下さい。一宮ロータリークラブ例会初出席の喜びで。

☆ 村手 誠君 柴垣健一君

昨年、富士山登頂を目指しましたが、九合目にて暴風の為断念いたしました。そして先週8月15日(金)、米山学友のカルキも新たに加わり、再び富士登山に挑戦いたしました。2日間にわたり雨に見舞われ、道のりは困難を極めましたが、その苦難を乗り越え、念願の山頂に立つことができました。登頂の喜びはひとしおであり、達成感に満ちた貴重な経験となりました。

☆ 山上哲司君 大鹿晃裕君

大成中学高等学校、修文学院高等学校インターアクトクラブのみなさん、ハーバート君チェコからようこそ。NTT重光さんクラブライフを楽しんで下さい。

出席報告

インターアクター	3名
現在の会員数	110名
本日の出席数	63名
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****
IAC海外研修報告



大成中学高等学校 村上 悠大君

オーストラリア海外派遣研修を通して、様々な貴重な経験を積むことができました。この研修には愛知県内の19校からインターアクターが参加し、英語学習やボランティア活動を行いました。名古屋市内のホテルでの出発式から始まり、現地では語学学校での英語授業や、コアラ保護区でのオーストラリアの動物見学、ビーチ清掃活動など充実した生活が続きました。

語学学校での学習で印象に残っていることは、オーストラリアの固有種の動物について学んだり、文化について学びました。カードゲームやブーメラン作りなどを通して楽しみながら記憶に残る学びができたことが多くの収穫です。

また、現地の老人ホームを訪問した際には、地域社会とのつながりを感じ、ボランティア活動の重要性を改めて感じました。ブリスベン市内の散策や、インターアクトの他校の人たちと一緒に活動することができて交流の幅も広がり、貴重な友人も出来ました。

今回の研修を通じて、英語力が向上しただけでなく、ボランティア活動を通じて社会貢献の意義を改めて理解できました。この経験を今後のインターアクトクラブでの活動や、日常生活に活かしていきたいと思います。このような貴重な機会を与えていただきロータリークラブの皆様には深く感謝いたします。ありがとうございます。

大成中学高等学校 松岡 来弥さん

私は今回、インターアクトクラブの海外派遣研修でオーストラリアでの貴重な経験をする事ができました。私は英語力を向上させるとともに、異文化交流や海外

でのボランティア活動を通して成長したいと考えていました。

研修はまず出発式を行い関西国際空港へ移動するのですが、私は緊張と研修への期待でドキドキしていました。でも参加メンバーは事前研修ですでに知り合いだったので順調に出発できました。ブリスベン到着後、語学学校での英語学習が始まり、オーストラリアの動物、文化や日常会話について学びました。オーストラリア伝統のブーメラン作りなどを通して楽しく文化に触れることもできました。ホームステイでは、オーストラリアの生活習慣に驚くことも多かったです。起床時間や就寝時間が早いことやシャワーを短時間で済ませなければならないことなど、日本との違いを実感しました。また英語の授業だけでなく、現地の人々と直接会話する中で英語力が向上したと感じました。特に自分から積極的に日本のことを話し、コミュニケーションをとることができたのはよい経験でした。でももっと積極的に自分の希望を伝えることができたのではないかと思います。

この研修を通じて何事も自分から挑戦し、発言することが大切だと思いました。英語を話す機会が多かったことで自信が付き、今後のインターアクトクラブの活動も自信をもってできると思います。今回の研修の機会を与えてくださったロータリークラブの皆様、大変ありがとうございました。

修文学院高等学校 石神 音花さん

海外派遣研修当日は、人生初の海外旅行と飛行機の搭乗で緊張していました。しかし、出発式でロータリーの皆さまや引率の先生方のお話を聞いたり、関西国際空港までのバスの中でボランティア先での歌や手遊びの練習をしたりしているうちに、期待が大きくなっていました。

2日目はボランティアをする老人ホームを訪問しました。老人ホームでは、習字や手遊び、歌のプレゼントをしました。

事前に手遊びや歌の練習を何度もしていましたが、目の前に相手がいると伝えたい思いがより強くなり、「利用者さんと一緒に楽しむ」ことを意識して対応することができました。

私の夢は介護士になることなので、外国の高齢者と関わる活動できたのは今後の活動にも生きてくると思います。

ホストファミリーとの対面は、今回の研修において最高に緊張しました。しかし、日本のお土産を渡す夕食時間に1日の出来事を話すうちに笑顔になり、自然に英語で声をかけることができるようになりました。休日は、ホストファミリーの都合で一緒に過ごすことができませんでしたが、ルームメイトと2人だけで郊外を探索したのは研修の中でも印象に残りました。学校近くのショッピングモールには特徴あるデザインの建物や興味深い商品が置かれているお店があり、毎日通っても飽きないほど素敵な空間でした。ブリスベンでの買い物時、英語表記の内容やお会計で困っている時、お店の人たちの優しい声掛けやたどたどしい英語を話す私たちへの親身な対応は、購入した商品以上の宝物になりました。

今回の海外派遣研修で日本のことをより知りたいと思えました。また、他の国も興味が湧く積極性があるようになりました。このような成長する機会をいただき、ありがとうございます。



青少年交換受入学生「ハーバート君」チェコより来日